

岐阜プレシヤス歯科・矯正歯科.研修プログラム

1. 歯科医師臨床研修プログラムの目的

岐阜プレシヤス歯科・矯正歯科.は当法人の診療理念である地域社会の医療・福祉に貢献することへの一環として、歯科医師臨床研修を行う。本臨床研修では歯科医師に求められる基本的臨床能力を身につけ、患者に信頼される歯科医師として常に仁愛の精神を基に診療を行い、国民の歯科医療に対するニーズの高度・多様化に適切に対応できるようにする。基本的診療能力を向上させると共に、少子超高齢社会に対応出来るように地域医療への理解を深め、地域包括ケアシステムの一翼を担うことが出来るようにする。良質で先進的かつ安心、安全な歯科医療を提供できる能力を持つ歯科医師となるための生涯研修の第一歩とすることを目的に歯科医師臨床研修を行う。

2. 歯科医師臨床研修の目標

1) ねらい

- ①歯科医師にふさわしい態度を身に付け、患者及び患者家族とのよりよい人間関係を構築する。
- ②全人的な視点から得られた医療情報を理解し、それに基づいた総合診療計画を立案する。
- ③歯科疾患と障害の予防及び治療における基本的技能を身につける。
- ④一般的によく遭遇する応急処置と頻度の高い歯科治療処置を確実に実施する。
- ⑤歯科診療時の全身的偶発症や事故に適切に対応する。
- ⑥自ら行った処置の経過を観察、評価し、診断と治療に常にフィードバックする態度・習慣を身につける。
- ⑦専門的知識や高度先進的歯科医療に目を向け、生涯研修への動機付けをする。
- ⑧歯科医師としての社会的役割を認識し、実践する。

2) 到達目標

歯科医師としての基本的価値観、資質・能力を醸成し、基本的診療能力を備えることを目標におく。

- 1 歯科医師として好ましい態度・習慣を身に付け、患者及び家族とのよ

- りよい人間関係を確立する。
- 2 全人的な視点から得られた医療情報を理解し、それに基づいた総合治療計画を立案する。
 - 3 歯科疾患と生涯の予防及び治療における基本的技能を身に付ける。
 - 4 一般的によく遭遇する応急処置と、頻度の高い歯科治療処置を確実に実施する。
 - 5 歯科診療時の全身的偶発事故を適切に対応する。
 - 6 自ら行った処置の経過を観察、評価し、診断と治療に常にフィードバックする態度・習慣を身に付ける。
 - 7 専門的知識や高度先進的歯科医療に目を向け、生涯研修の意欲への動機付けをする。
 - 8 歯科医師の社会的役割を認識し、実践する。

【A. 歯科医師としての基本的価値観（プロフェッショナルリズム）】

1. 社会的使命と公衆衛生への寄与
社会的使命を自覚し、説明責任を果たしつつ、社会の変遷に配慮した厚生な医療の提供及び公衆衛生の向上に努める。
2. 利他的な態度
患者の苦痛や不安の軽減と福利の向上を最優先するとともに QOL に配慮し、患者の価値観や自己決定権を尊重する。
3. 人間性の尊重
患者や家族の多様な価値観、感情、知識に配慮し、尊敬の念と思いやりの心を持って接する。
4. 自らを高める姿勢
自らの言動及び医療の内容を省察し、常に資質・能力の向上に努める。

【B. 資質・能力】

1. 医学・医療における倫理性
診療、研究、教育に関する倫理的な問題を認識し、適切に行動する。
 - ①人間の尊厳を守り、生命の不可侵性を尊重する。
 - ②患者のプライバシーに配慮し、相互尊重に基づき対応する。
 - ③倫理的ジレンマを認識し、相互尊重に基づき対応する。
 - ④利益相反を認識し、管理方針に準拠して対応する。
 - ⑤診療、研究、教育の透明性を確保し、不正行為の防止に努める。

2. 歯科医療の質と安全の管理

患者にとって良質かつ安全な医療を提供し、医療従事者の安全性にも配慮する。

- ①医療の質と患者安全の重要性を理解し、それらの評価・改善に努める。
- ②日常業務の一環として、報告・連絡・相談を実践する。
- ③医療事故等の予防と事後の対応を行う。
- ④歯科診療の特性を踏まえた院内感染対策について理解し、実践する。
- ⑤医療従事者の健康管理（予防接種や針刺し事故への対応を含む。）を理解し、自らの健康管理に努める。

3. 医学知識と問題対応能力

最新の医学及び医療に関する知識を獲得し、自らが直面する診療上の問題について、科学的根拠に経験を加味して解決を図る。

- ①頻度の高い疾患について、適切な医学的知見に基づいて、患者の意や生活の質に配慮した臨床決断を行う。
- ②患者情報を収集し、最新の医学的知見に基づいて、患者の意向や生活の質に配慮した臨床決断を行う。
- ③保健・医療・福祉の各側面に配慮した診療計画を立案し、実行する。
- ④高度な専門医療を要する場合には適切に連携する。

4. 診療技能と患者ケア

臨床技能を磨き、患者の苦節や不安、考え・意向に配慮した診療を行う。

- ①患者の健康状態に関する情報を、心理・社会的側面を含めて、効果的かつ安全に収集する。
- ②診察・検査の結果を踏まえ、一口腔単位の診療計画を作成する。
- ③患者の状態やライフステージに合わせた、最適な治療を安全に実施する。
- ④診療内容とその根拠に関する医療記録や文書を、適切かつ遅滞なく作成する。

5. コミュニケーション能力

患者の心理・社会的背景を踏まえて、患者や家族と良好な関係性を築く。

- ①適切な言葉遣い、礼儀正しい態度、身だしなみで患者や家族に接する。
- ②患者家族にとって必要な情報を整理し、分かりやすい言葉で説明して、患者の主体的な意思決定を支援する。
- ③患者や家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握する。

6. チーム医療の実践

医療従事者をはじめ、患者や家族に関わる全ての人々の役割を理解し、連携を図る。

- ① 歯科医療の提供にあたり、歯科衛生士、歯科技工士の役割を理解し、連携を図る。
- ② 多職種が連携し、チーム医療を提供するにあたり、医療を提供する知識やチームの目的、チームの各構成員の役割を理解する。
- ③ 医療チームにおいて各構成員と情報を共有し、連携を図る。

7. 社会における歯科医療の実践

医療の持つ社会的側面の重要性を踏まえ、各種医療制度・システムを理解し、地域社会に貢献する。

- ① 健康保険を含む保険医療に関する法規・制度の目的と仕組みを理解する。
- ② 地域の健康問題やニーズ把握など、公衆衛生活動を理解する。
- ③ 予防医療・保健・健康増進に努める。
- ④ 地域包括ケアシステムを理解し、その推進に貢献する。
- ⑤ 災害や感染症パンデミックなどの非日常的な医療需要について理解する。

8. 科学的探究

医学及び医療における科学的アプローチを理解し、学術活動を通じて、医学及び医療の発展に寄与する。

- ① 医療上の疑問点に対応する能力を身に付ける。
- ② 科学的研究方法を理解し、活用する。
- ③ 臨床研究や治験の意義を理解する。

9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢

医療の質の向上のために省察し、他の歯科医師・医療者と共に研鑽しながら、後進の育成にも携わり、生涯にわたって自立的に学び続ける。

- ① 急速に変化・発展する医学知識・技術の吸収に努める。
- ② 同僚、後輩、歯科医師以外の医療職と互いに教え、学びあう。
- ③ 国内外の政策や医学及び医療の最新動向（薬剤耐性菌等を含む。）を把握する。

【C. 基本的診療業務】

「B. 資質・能力」のうち、「2. 歯科医療の質と安全の管理」
「3. 医学知識と問題対応能力」「4. 診療技能と患者ケア」
「5. コミュニケーション能力」に相当する具体的な到達目標は以下のとおりとする。

1. 基本的診察・検査・診断・治療計画

一般目標：患者中心の歯科診療を実施するために、医療面接についての知識、態度及び技能を身に付け、実践する。

○到達目標

- ①患者の心理的・社会的背景を考慮した上で、適切に医療面接を実施する。
- ②全身状態を考慮した上で、顎顔面及び口腔内の基本的な診察を実施し、診察所見を解釈する。
- ③診察所見に応じた適切な検査を選択、実施し、検査結果を解釈する。
- ④病歴聴取、診察所見及び検査結果に基づいて歯科疾患の診断を行う。
- ⑤診断結果に基づき、患者の状況・状態を総合的に考慮した上で、考え得る様々な一口腔単位の診療計画を検討し、立案する。
- ⑥必要な情報を整理した上で、わかりやすい言葉で十分な説明を行い、患者及び家族の意思決定を確認する。

2. 基本的診療技能等

一般目標：日常臨床において高頻度で遭遇する歯科疾患や機能障害を有する患者にたいして、適切に対処できるような基本的な技能を習得する。

○到達目標

- ①歯科疾患を予防するための口腔衛生指導、基本的な手技を実践する。
- ②一般的な歯科疾患に対応するために必要となる基本的な治療及び管理を実践する。
 - a) 歯の硬組織疾患
 - b) 歯髄疾患
 - c) 歯周病
 - e) 歯質と歯の欠損
 - f) 口腔機能の発達不全・機能低下
- ③基本的な応急処置を実践する。
- ④歯科診療を安全に行うために必要なバイタルサインを観察し、全身状

態を評価する。

- ⑤診療に関する記録や文書（診療録、処方せん、歯科技工指示書等）を作成する。

3. 患者管理

一般目標：全身状態に配慮が必要な患者に対して歯科治療を行う際の患者管理に関する知識、技能、態度を習得する。

○到達目標

- ①歯科治療上問題となる全身的な疾患、服用薬剤等について説明する。
- ②患者の医療情報等について、必要に応じて主治の医師等と診療情報を共有する。
- ③全身状態に配慮が必要な患者に対し、歯科治療中にバイタルサインのモニタリングを行う。
- ④安全で快適な歯科治療を提供するために、精神鎮静法及び全身麻酔法を実践する。
(朝日大学医科歯科医療センター歯科麻酔科)
- ⑤歯科診療時の主な併発症や偶発症への基本的な対応法を実践する。
(朝日大学医科歯科医療センター歯科麻酔科)
- ⑥入院患者に対し、患者の状態に応じた基本的な術前・術後管理及び療養上の管理を実践する。(朝日大学病院)

4. 患者の状態に応じた歯科医療の提供

一般目標：全身状態に配慮が必要な患者にたいして歯科治療を行う際の患者管理に関する知識、技能、態度を習得する。

○到達目標

- ①妊娠期、乳幼児期、学齢期、成人期、高齢期の患者に対し、各ライフステージに応じた歯科疾患の基本的な予防管理、口腔機能管理について理解し、実践する。
- ②各ライフステージ及び全身状態に応じた歯科医療を実践する。
(朝日大学病院)
- ③在宅療養患者等に対する訪問歯科診療を経験する。

【D. 歯科医療に関する連携と制度の理解】

「B. 資質・能力」のうち、「6. チーム医療の実践」「7. 社会における歯科医療の実践」に相当する具体的な到達目標は以下のとおりとする。

1. 歯科専門職の連携

一般目標：歯科診療を安全に行うために、必要な救急処置に関する知識、技能、態度を習得する。

○到達目標

- ①歯科衛生士の役割を理解し、予防処置や口腔衛生管理等の際に連携を図る。
- ②歯科技工士の役割を理解し、適切に歯科技工指示書を作成するとともに、必要に応じて連携を図る。
- ③多職種によるチーム医療について、その目的、各職種の役割を理解した上で、歯科専門職の役割を理解し、説明する。

2. 多職種連携・地域医療

一般目標：地域包括ケアシステムにおける多職種連携による質の高い歯科保健医療を提供するための役割に関する知識、技能、態度を修得する。

○到達目標

- ①地域包括ケアシステムについて理解し、説明する。
- ②地域包括ケアシステムにおける歯科医療の役割を説明する。
- ③在宅療養患者や介護施設等の入所者に対する介護関係職種が関わる多職種チームについて、チームの目的を理解し、参加する。
- ④訪問歯科診療の実施にあたり、患者に関わる医療・介護関係職種の役割を理解し、連携する。
- ⑤がん患者等の周術期等口腔機能管理において、その目的及び各専門職の役割を理解した上で、多職種によるチーム医療に参加し、基本的な口腔機能管理を経験する。（朝日大学病院）
- ⑥歯科専門職が関与する多職種チーム（例えば栄養サポートチーム、摂食嚥下リハビリテーションチーム、口腔ケアチーム等）について、その目的及び各専門職の役割を理解した上で、チーム医療に参加し、関係者と連携する。（朝日大学病院）

3. 地域保健

一般目標：歯科医師の地域公衆衛生に果たす役割を理解し、地域歯科保健活動に参画するための知識、技能、態度を修得する。

○到達目標

- ①地域の保健・福祉の関係機関、関係職種を理解し、説明する。

- ③ 保健所等における地域歯科保健活動を理解し、説明する。
- ④ 保健所等における地域保健活動を経験する。（岐阜市保健所）
- ④ 歯科健診を経験し、地域住民に対する健康教育を経験する。

4. 歯科医療提供に関連する制度の理解

一般目標：各種の医療法・歯科医師法及び関連する医療保険制度の目的やシステムを理解し、適切な歯科保険診療を実践する。

○到達目標

- ① 医療法や歯科医師法をはじめとする医療に関する法規及び関連する制度の目的と仕組みを理解し、説明する。（厚生局主催の集団指導を受講）
- ② 医療保険制度を理解し、適切な保険診療を実践する。
- ③ 介護保険制度の目的と仕組みを理解し、説明する。

3. 当施設歯科医師臨床研修プログラムの特徴

当施設では、4月から5月上旬にかけて初期研修を行う。初期研修は診療参加の為に必要な知識及び診療技術の確認を行い、以降の研修が安全に行えることが出来るようにするために行うものである。研修項目の確認は別に定めるルーブリックにより評価を行う。ルーブリック評価とは各研修項目を客観的に評価する評価方法であり、各研修項目の可に到達するまで繰り返し履修する。初期研修後、厚生労働省が到達目標である基本的診療能力及び歯科医療に関連する連携と制度の理解を習得する。ルーブリック評価の各研修項目の可に達するまで繰り返し履修する。履修の確認に2022年度岐阜プレシヤス歯科・矯正歯科研修プログラム評価帳を使用することにより、研修の履修状況を確認することが出来る。

管理型施設には非特定非営利活動法人日本歯周病学会の専門医及び認定医が在籍しており、歯周治療の高度で専門的な知識・技術などの指導を受けることが可能である。また、向上心が高く、当学会の認定医や専門医を目指す者には、学術大会や講習会への参加など、高度な研鑽を積むことができる。また、他の日本歯科医学会専門分科会等への参加も可能である。

臨床能力の質の向上及び臨床研修内容の補完として、管理型施設及び協力型施設の指導医が実施する症例報告会、症例検討会、勉強会等に参加可能である。更に管理型施設及び協力型施設の全スタッフを対象にしたネット回線を使用した朝ゼミへの参加も可能で、歯科医学の知識のみならず、患者心理、医院マ

ネジメント、経営等に関する幅広い事項について研修することが出来る。

本プログラムにおいては基本的な保険診療及び訪問診療を経験できることに加え、向上心ならびに臨床スキルが高いと認められた者はそれぞれの協力型施設が得意とする矯正歯科や補綴治療、インプラント治療などの先進的な診療を一部経験できる。全身管理研修は、協力型Ⅱ施設である朝日大学医科歯科医療センターで実施する。歯科専門職が関与する多職種チームの研修については、協力型（Ⅱ）臨床研修施設である朝日大学病院で病棟研修を行う。保健所等における地域保健活動の研修は岐阜市保健所で行う。訪問歯科診療における医療介護関係職種の役割を理解し連携する目的で岐阜市歯科医師会主催の介護と歯科との連携研修会に参加する。

協力型（Ⅰ）臨床研修施設は埼玉県、茨城県、東京都、京都府にあり、研修を行う施設を選択できる。それぞれの地域のニーズにそった治療が経験出来る。

管理型施設と協力型施設との連携を密に行い、臨床研修歯科医の研修の進捗状況を管理するとともに、定期的に面談を行い歯科医師臨床研修医への精神的なケアも行う。

当施設における歯科医師臨床研修プログラムの修了者のうち希望者には1年間の研修修了後に、引き続いて当施設及び協力型研修施設での高度な診療技術を修得できる機会を与える。

以上のような特徴を本研修プログラムは有している。

4. 募集定員 : 2 名

5. 研修期間の研修方法と臨床スキル確認項目

1) 4月上旬から5月上旬

(1) 研修方法・内容

- ① 研修初期の1ヶ月半（4月～5月初旬）は初期研修を行う。研修歯科医が実際の患者の診療を実践する前に、模型などで下記に示す臨床スキル確認項目（①～⑮）の全てについて合格基準に到達するまで、繰り返し研修する。

※合格基準は、臨床スキル確認項目いずれもルーブリックの「可」以上とする。

- ② 保険医の登録（受付）が完了するまでは、指導歯科医が担当する患者の診療の見学、介助等を行う。
- ③ 保険医の登録（受付）が完了し、臨床スキル確認項目の全てを合格した者（ルーブリックの初期研修項目が全て可以上）から、順次患者の配当を開始し、基本的診療業務を履修する。

（2）研修内容（臨床スキル確認項目）

- ① クラウン（FMC）支台歯形成
- ② インレー(Ⅱ級)支台歯形成
- ③ 咬合診断（口腔内印象、模型作製、フェースボウトランスファー、チェックバイト、半調節性咬合器装着）
- ④ 歯内療法（抜去歯による歯内療法処置）
- ⑤ 口腔内診査（相互）
- ⑥ CR 充填（窩洞形成含む）
- ⑦ X線（デンタル、パノラマ）撮影・読影
- ⑧ 口腔ケア（染め出し・ブラッシング）
- ⑨ 乳歯の予防充填
- ⑩ 歯周病検査、除石
- ⑪ カルテ記載（P OMR、保険診療・点数算定法）
- ⑫ 医療安全・感染予防（手指消毒、滅菌・消毒実習）
- ⑬ 浸潤麻酔
- ⑭ 口腔内写真の撮影
- ⑮ 接遇

2) 5月中旬～7月

（1）研修方法

上記の臨床スキル確認項目のうちで合格基準に到達していないと判断される項目については、引き続き合格するまで繰り返し研修する。臨床スキル確認項目の全てを合格した者は以下の研修内容を行う。

（2）研修内容

- ① 指導歯科医が担当する患者の診療の引き継ぎを行う。
- ② 当施設の初診・再診患者及び指導歯科医が担当する患者のX線撮影・読影を行う。
- ③ 保険医の登録（受付）が完了し、臨床技術確認項目の全てを合格した者は、指導歯科医の指導下で診療を行う。

3) 8月以降

下記の協力型研修施設中の1施設を選択し、8月間研修を行う。
指導医の下で実際の患者を治療するとともに、それぞれの治療や課題に関する知識を深化するような報告書(レポート)の作成を行う。研修後期(3月)に症例報告を1ケース行う。

6. 臨床研修施設の概要

1) ①管理型臨床研修施設

医療法人プレシヤスマインド 岐阜プレシヤス歯科・矯正歯科.
管理型臨床研修施設長

川畑美紀

研修管理委員長

川畑美紀

プログラム責任者

川畑美紀

事務部門責任者

野口仁寛 (医療法人社団 ブライトデンタルケア)

研修期間

2022年4月1日(金)～2023年3月31日(金)

2) 協力型(I)臨床研修施設

協力型臨床研修施設 一覧(全6施設)

施設名: 医療法人社団ブライトデンタルケア

川口リボンシティ歯科・矯正歯科

所在地: 埼玉県川口市並木元町1-65 リボンシティコミュニティ1F

施設管理者・研修実施責任者: 松岡大輝(院長)

施設名: 医療法人社団ブライトデンタルケア

羽生リボン歯科・矯正歯科

所在地: 埼玉県羽生市川崎2-281-3 イオンモール羽生1F

施設管理者・研修実施責任者: 井関健太郎(院長)

施設名：医療法人社団ブライトデンタルケア
王子リボン歯科・矯正歯科
所在地：東京都北区王子 1-9-3 石神ビル 4F
施設管理者・研修実施責任者：木村美穂

施設名：医療法人社団ブライトデンタルケア
つくばリボン歯科・矯正歯科
所在地：茨城県つくば市東新井 15-4 関友つくば第二ビル 1F
施設管理者：高橋直子
研修実施責任者：高橋朗子

施設名：医療法人社団ブライトデンタルケア
三鷹リボン歯科・矯正歯科
所在地：東京都武蔵野市中町 1-12-10
武蔵野タワーズスカイゲートタワー Towers モール 1F
施設管理者：西山裕太（院長）
研修実施責任者：仲西慶浩

施設名：医療法人 創成会
京都出町トラスト歯科・矯正歯科
所在地：京都市上京区青龍町 218 グランスイート鴨川 1F
施設管理者・研修実施責任者：山本敦之（理事長）

3) 協力型（Ⅱ）臨床研修施設 （全2施設）

施設名：朝日大学病院
所在地：岐阜県岐阜市橋本町 3-23
施設管理者：日下 義章
研修実施責任者：村松 泰徳 （研修管理委員長）

施設名：朝日大学医科歯科医療センター
所在地：岐阜県瑞穂市穂積 1851-1
施設管理者・研修実施責任者：藤原 周

4) 研修協力施設

施設名：岐阜市保健所
所在地：岐阜県岐阜市都通 2 丁目 1 9
施設管理者：中村こず枝
研修実施責任者：野村隆之

7. 募集及び採用方法

①採用方法

歯科医師臨床研修マッチング協議会の歯科マッチングによる。
(選考試験、提出書類等により採用希望順位を決定する。)

②対象者

(1) 2022年4月1日以降に歯科医師免許を取得する者（取得予定者も含む）

(2) 歯科医師臨床研修マッチング協議会の歯科マッチングに参加する者

③選考試験日

第1回 2022年9月 12日（月曜日）

第2回 2022年9月 26日（月曜日）

④選考会場

岐阜プレシヤス歯科・矯正歯科.

⑤提出書類

(1) 願書

(2) 履歴書

(3) 卒業（見込）証明書

(4) 成績証明書

(5) 返信用封筒（定型封筒（長形3号12×23.5cm）の表に返信先を記入し、84円切手を貼付したもの）

⑥応募期間

2022年8月1日（月曜日）～2022年8月31日（水曜日）（必着）

問合せ先

〒501-6102

住所 岐阜県岐阜市柳津町東塚 3-52-1

医療法人プレシヤスマインド岐阜プレシヤス歯科・矯正歯科.

TEL 058-388-3477 / FAX 058-388-3477

8. 処遇

①常勤又は非常勤の別

常勤

②基本手当

月額180,000円

③諸手当

(1) 通勤手当 : 月額上限 10,000円

(2) 時間外手当 : 1,406円/1時間

④勤務時間

月～水、金 9：00～19：00（休憩2時間）

土 9：00～18：30（休憩2時間）

⑤休日

木、日祝祭日、年末年始、夏季等

⑥有給休暇

有（研修開始から半年後からの10日）

上記休日含まず（当施設の就業規則に準ずる）

⑦時間外勤務

原則として無

⑧日・当直

なし

⑨宿舎

無

⑩施設内の室

有

⑪公的医療保険

歯科医師国保

⑫公的年金保険

厚生年金

⑬労働者災害補償保険

有

⑭雇用保険

有

⑮健康診断

有（当施設指定の医科診療所）

⑯歯科医師賠償責任保険

加入（個人も強制加入）

⑰外部の研修活動

当施設以外の研修活動は、参加可能で、費用は当施設が負担するが、届け出を要する。

9. 研修プログラムの概要

本施設である岐阜プレシヤス歯科・矯正歯科で4月から7月まで研修を行う。その後8月からは協力型（I）臨床研修施設で包括的歯科医療の基本的技能を、指導歯科医の指導下で修得する。また、指導歯科医によって様々な症例の提示等を行い診療時の注意点を解説する。さらには研修歯科医に課せられた症例検討・症例報告のプレゼンテーション

等の指導を行う。加えて技工操作の技術の向上を目指して、自身担当患者の技工物の一部（個人トレー、暫間被覆冠など）を作製する。なお、病棟・全身管理研修については、協力型（Ⅱ）施設である朝日大学病院及び朝日大学医科歯科医療センターで7月第1週及び第2週に全身麻酔研修及び周術期等周術期等の基本的な口腔機能管理の研修を行う。その他4月及び5月に岐阜市保健所において、地域歯科保健活動の研修を行う。

10. 研修の評価法

- 1) 毎日の記録や一週間の振り返り（臨床研修歯科医手帳）などにより評価する。
 - 2) 臨床スキルおよびレポートをルーブリックにより評価する。
 - 3) 診療態度・スキルは、コ・デンタルスタッフ、同僚・先輩歯科医などによる360度評価を行う。
 - 4) 症例報告・症例検討のプレゼンをルーブリックにより評価する。
- 1)～4)について全て合格基準を満たした者を研修管理委員会において「研修修了」の可否を判断する。

11. 協力型施設（Ⅱ）

1) 朝日大学病院(病棟研修)

研修内容

- ① 入院患者の口腔ケア・口腔リハビリ・周術期歯科診療（介助・診療参加）
- ② 歯科で入院中の患者の歯科治療（介助・診療参加）
- ③ 歯科以外で入院中の患者の歯科治療（介助・診療参加）
- ④ 多職種連携（医師・看護師・薬剤師・放射線技師・臨床検査技師等）

研修実施責任者：村松泰徳

臨床研修指導歯科医：村松泰徳

研修時期・期間：7月第1週に5.5日間（月～土）

2) 全身管理に関する研修（当研修施設および研修協力施設の朝日大学

医科歯科医療センター)

【歯科麻酔科による全身管理研修】

研修内容

- ① 静脈確保、気管挿管（マネキン実習）
- ② 静脈確保（相互実習）
- ③ 医療面接（静脈内鎮静法・全身麻酔法の術前説明と病歴聴取）
 - a. 気管挿管全身麻酔管理
 - b. 静脈内鎮静法管理（患者研修）

研修実施責任者：櫻井 学

臨床研修指導歯科医：櫻井 学

研修時期・期間：7月第2週に5.5日間（月～土）

1 3. 研修協力施設

岐阜市保健所

研修実施責任者：野村隆之

- ①地域の保健・福祉の関係機関、関係職種を理解し、説明する。
 - ②保健所等における地域歯科保健活動を経験する。
- 研修時期・期間：①4月に講義、②5月に健診実習

1 4. 訪問歯科診療

- ① 岐阜プレシヤス歯科・矯正歯科.及び協力型（I）施設で実施する
- ② 訪問診療回数：12回

研修施設一覧（管理型研修方式）

【管理型臨床研修施設】

研修施設番号	施設名	管理者
090090	医療法人プレシヤスマインド 岐阜プレシヤス歯科・矯正歯科.	川畑仁克

【協力型（I）臨床研修施設】

研修施設番号	施設名	研修実施責任者
100066	医療法人社団ブライトデンタルケア川ロリボンシティ歯科・矯正歯科	松岡大輝
120021	医療法人社団ブライトデンタルケア 羽生リボン歯科・矯正歯科	井関健太郎
120019	医療法人社団ブライトデンタルケア 王子リボン歯科・矯正歯科	木村美穂
	医療法人社団ブライトデンタルケア つくばリボン歯科・矯正歯科	高橋朗子
	医療法人社団ブライトデンタルケア 三鷹リボン歯科・矯正歯科	仲西慶浩
	医療法人創成会 京都出町トラスト歯科・矯正歯科	山本敦之

--	--	--

【研修協力型施設Ⅱ】

研修施設番号	施設名	研修実施責任者
050021	朝日大学病院	村松泰徳
050020	朝日大学医科歯科医療センター	藤原 周

【研修協力施設】

研修施設番号	施設名	研修実施責任者
055008	岐阜市保健所	野村隆之